

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センタークオラバンピーノ				公表日	2026年 2月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・1日当たり10名定員での受け入れを行っています。こどもの人数に応じて使用する部屋をわけています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・10対1の基準以上の職員配置数を行っています。更に、こどもの状況に応じて、1人に対し複数の職員で対応することもあります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・靴箱、部屋、トイレの位置や案内図はわかりやすいです。 ・各部屋に段差もなく、車椅子のこどもでも過ごしやすい環境です。掲示物も少なく、目移りはしにくい環境を設定しています。	・時計や見通し表、棚の場所が日々変更するため、こどもによってはわかりにくい様子が見られるため、更に工夫していきたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・日々、清潔を心掛け、掃除、消毒等を実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・こどもの様子に応じて、個別で部屋を使用することもあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・活動終了後や翌日に振り返りを行い、次の活動へ活かすようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年事業所評価を実施しており、保護者の意向を確認しています。	・保護者の意見を参考にさせていただき、今後も継続して改善に努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・業務の中で、気づいたことや改善が必要と感じた際は、朝礼や会議、日常的なやり取りの中で話しをする機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在外部評価は受けていません。	・今後、検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・児童発達支援管理責任者、相談支援専門員、強度行動障害支援者、医療的ケア児等コーディネーター等受講要件を満たす職員から資格取得を図り、各職種への理解を深めています。また、その他県内、県外での色々な研修、学会等に参加し、自己研鑽を図っています。 ・法人内においても、法定研修の他に事例検討会を開催したり、業務改善発表会等に参加し、自己研鑽や、技術、知識向上のために職員が研修を受けられる機会が設けられています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者との意見交換や職員間での会議等で十分なアセスメントを定期的に行っています。客観的な部分がやや不足しているように感じることがあります。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・面談では、こども一人一人の様子を聞き取り、こども、ご家族をまん中にした計画の見直し、計画作成を行っています。		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・個別支援会議を児童発達支援管理責任者、相談支援専門員、グループリーダーで行っています。会議での内容をグループリーダーからグループ職員に周知し、活動に活かしています。 ・概ね計画に沿った支援が行われていると思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	・言語聴覚士、作業療法士等が実施する知能検査、発達検査、言語検査等の様子や活動時の行動観察から、こどもの行動の様子を確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・放課後等デイサービスガイドラインに沿って、支援のねらいや支援内容等、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・職員同士で意見交換をしながら行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・個々の発達段階を踏まえ、ひとりひとりがスモールステップで成功体験を得られるようなプログラムを設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・個別を好む児童や集団を好む児童など、こどもの状態を確認しながら、安心して過ごせるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・毎日活動前に活動のねらい、流れや課題、支援の中での配慮事項の確認など情報共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・当日もしくは翌日に振り返りを行い、活動計画へ記録し、次の活動へ活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・日々の支援に関して毎日支援記録をとり、また活動計画等に反省を踏まえて次の支援につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・半年に1回以上定期的に保護者と面談の場を設定し、個別のモニタリングを行い、支援の継続、見直しの必要性について検討しています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○	・好きな遊び等、こどもたちが個別に選択できる視覚情報ツールを作成し、選択できるように工夫しています。		
関係機関や保	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・児童発達支援管理責任者やグループリーダーが参加し、児童の発達課題等について、情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・必要に応じて、保健師や医療機関、学校等と連絡を取り合い、連携して支援が行えるように努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校のコーディネーターを通して情報共有する場をつくっています。必要な情報は把握できるよう努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・相談支援事業所を通して、情報共有を図り、必要な情報は把握したうえで受け入れられるよう環境を整えています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・開設後対象児がいないため、今後必要に応じて対応していきます。	

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・発達や特性に応じた対応を相談し、専門職からの助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現時点では実施できていません。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・地域自立支援協議会や分科会であるこども部会等積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や面談時等に様子を伝えあっています。 ・連絡ノートを活用したり、急ぎの場合や対面で伝えることが難しい時は、電話連絡をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者懇談会を実施しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別面談でこどもや保護者の意見を聞き取り、意向を尊重しながら個別支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・必ず保護者へ個別支援計画を示し、具体的な内容説明を行い、同意を得たうえで支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から相談があった場合は適切な助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母の会の活動は行っていません。保護者懇談会等を開催し、保護者同士で話ができるような機会を設けています。 ・親子遠足やいっしょに遊ぼうデイを企画し、保護者、きょうだい児も一緒に参加できる機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・口頭や連絡帳にて相談があった場合は、迅速に対応し、面談を行ったり、電話等で対応したりしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月1回バンピーノ通信を配布し、活動の様子を各グループのコメントや写真で伝えていきます。 ・活動計画については、ホームページに掲載し、いつでも見られるように発信しています。	・ホームページやSNSでの発信については、今後検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報については、契約時に保護者に説明し、同意を得たうえで関係機関と情報交換しています。写真や名前の掲載については、随時必要に応じて保護者に確認し、同意を得た方のみ使用しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・こどもの状況に応じて、絵カードや写真などの視覚支援を行っています。 ・仕草や手話でも意思疎通を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・以前は実施していましたが、今年度は実施できていません。	・今後、検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・職員に対しては研修を実施し、周知しています。	・保護者への周知が不十分と感じます。契約時のみではなく、通園のしおり等を用いながら、定期的に周知を図る必要があると考えています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・クオラグループでBCPを作成し、定期的に訓練を実施しています。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの連絡を職員間で共有しています。てんかん等があるこどもの対応については個別に確認しています。 ・利用時間内に内服が必要な場合は、服薬届けと処方箋コピーをご提出頂き、確認したうえで対応しています。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・診断書もしくは検査結果票をご提出頂き、確認したうえで、栄養士と情報共有し、除去食の対応を行っています。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に活動を進めるために、安全計画を策定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への周知が不十分と感じます。契約時のみではなく、通園のしおり等を用いながら、定期的に周知を図る必要があると考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事例が発生した際には、関係職員で状況確認、原因把握、防止策を検討し、報告書を作成しています。当日、または翌日には全職員への周知を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休みの職員に対して、連絡帳への記載だけでなく、申し送りを徹底するシステムを検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に関するマニュアルを作成し、職員研修を定期的に行っています。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束については、当センターでは行わないことを契約時に説明しています。 ・現時点で身体拘束を行った例はありません。 	